

# つながりのまちづくりフォーラム 2018

## つながりの連鎖がまちを変える

地域の課題を解決する取組は、

1 団体だけでやろうとすると、なかなか難しいものです。

今回のフォーラムでは、地域の居場所づくりや、アートの力を活かす取組、当事者の語り合いから生まれた取組など、地域や社会の課題解決を、複数の団体でプロジェクト的に取り組んでいる事例を学びます。

当事者が参画する意義や、様々な立場での関わり方の可能性を考えながら、これからの自分自身の活動のヒントを得る機会として、ぜひご参加ください。

● 開催日：2018年12月5日（水）17：30～20：40（開場17：00）

● 会場：かなっくホール 横浜市神奈川区民文化センター

（JR東神奈川駅／京浜急行仲木戸駅から

連絡橋「かなっくウォーク」で徒歩1分）

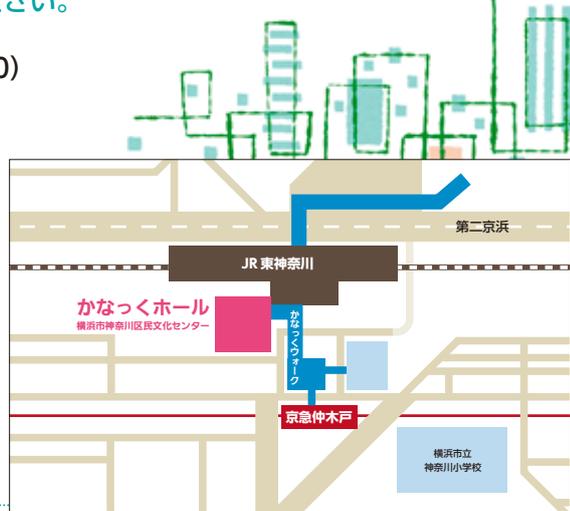
● 対象：市民、NPO、企業、大学、行政、関心のある方

● 定員：250名 事前申込制（8月20日から申込受付開始）

● 参加費：無料

● テーマ：「つながりの連鎖がまちを変える」

● 内容：17：30 開 会 司会：横浜市市民活動支援センター 薄井 智洋



17：40 実践報告1：「中田のえんがわ「宮ノ前テラス」多世代交流スペース」

○ NPO 法人 宮ノマエストロ 理事長 高橋裕子さん

18：10 実践報告2：「アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト」

○ NPO 法人 アーモンドコミュニティネットワーク 理事長 水谷裕子さん

18：40 実践報告3：「療育おやこネットワーク gift」

○ NPO 法人 親がめ 理事 塚原泉さん、gift メンバーの皆さん

19：10 実践報告4：「アーティストが学校へ。」

○ 認定 NPO 法人 ST スポット横浜 事務局長 田中真実さん

◇ 4 団体へのインタビュー：石井大一郎さん（国立大学法人宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授）  
森祐美子さん（NPO 法人こまちがらす 理事長）

19：40 ミニワーク ○ 吉原明香（横浜市市民活動支援センター責任者）

休憩 10 分

20：00 つながりトーク

○ 登壇者の皆さん、石井大一郎さん（国立大学法人宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授）  
森祐美子さん（NPO 法人こまちがらす 理事長）

20：40 閉 会  
ホワイエにて情報交流タイム（任意）

21：00 終 了

主催

横浜市 Yokohama Citizens  
Empowerment Center  
市民活動支援センター

横浜市（市民局 都市整備局）

お問い合わせ

横浜市市民活動支援センター

〒231-0061  
横浜市中区桜木町 1-1-56  
みなとみらい 21 クリーンセンタービル 5 階

共催

認定 NPO 法人市民セクターよこはま

Tel：045-223-2666  
Fax：045-223-2888  
E-mail：daihyo@hamacen.jp  
https://opencity.jp/yokohama/

### 実践報告 1: 中田のえんがわ「宮ノ前テラス」多世代交流スペース



○ NPO 法人 宮ノマエストロ 理事長 高橋裕子さん

地域高齢者世帯と、新たに地域に加わった子育て世帯により交流の少ない地域に「いつも誰かがいる」、「何か楽しい事がある」、「おいしい食事が食べられる」、そんな居場所を目指しました。引きこもりがちな高齢者や子育てで孤立している若い世代を、地域で支え合い、交流の機会を広げていくための拠点、宮ノ前テラスを開設しました。その立ち上げのきっかけや経緯についてお話しします。

### 実践報告 2: アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト



○ NPO 法人アーモンドコミュニティネットワーク 理事長 水谷裕子さん

相手の話をより良く聴く「傾聴活動」を土台に、不登校、引きこもり、発達障がい、外国籍、生活困窮等の子ども・若者と家族への支援を展開。発達に凸凹がある個性豊かな青少年と、イタリアで活躍するアーティストが繋がり、都筑区にてアート事業、「アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト」立ち上げのきっかけから現在に至るまでの経緯についてお話しします。

### 実践報告 3: 「療育おやこネットワーク gift」



○ NPO 法人 親がめ 理事 塚原泉さん、gift メンバー

「療育おやこネットワーク gift」は、神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえの、当事者間の語り合いタイム“療育親子たいむ”から生まれた、ネットワーキンググループ。

「入っているいろいろがうっておもしろい♪自分らしさで暮らせる世の中へ」という目的を真ん中に、いどばたカフェなどいろいろな人がいろいろな場や声で伝えていける啓発ワーク・対話の場づくりワークをチームで創っています。これら多彩なメンバーで実践の場を生み出している事例を語ります。

### 実践報告 4: 「アーティストが学校へ。」



○ 認定 NPO 法人 ST スポット横浜 事務局長 田中真実さん

1987年の設立以来「アートの力を現代社会に活かす」ことをミッションに、劇場運営（ST スポット）、舞台芸術事業の創造発信に加え、学校と文化施設の連携（横浜市芸術文化教育プラットフォーム）、民間の地域文化活動支援（ヨコハマアートサイト）、福祉と芸術をつなぐ活動へと展開を広げ、芸術文化の中間支援組織として活動しています。今回は、学校教育とアートをつなぐプログラム（アーティストが学校へ。）を通じて、新しいつながりの可能性を語ります。

### インタビュー



○石井大一朗さん（国立大学法人宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授）

活動のモットーは“課題解決より主体形成”。2015年まで横浜を中心に、中間支援 NPO の理事・職員として、住民が自ら行うワークショップや地域調査の実施支援などに数多く関わってきました。その後、栃木・宇都宮に舞台の中心を移し、大学教員、一般社団法人とちぎ市民協働研究会の副代表として、実践を通じた教育研究活動に力を入れています。



○森祐美子さん（NPO 法人こまちがらす 理事長）

出産直後に「居場所」や「情報」の必要性を痛感し、2012年にこまちがらすを立ち上げ、横浜市戸塚区でコミュニティカフェ「こまちカフェ」を運営。

孤育てのない社会実現のため、50人程のスタッフ・ボランティアさんとウェルカムベビープロジェクトや「まちの担い手」を育むプロジェクト等様々な事業を展開しています。

※お申込み：下記の E-mail または FAX 申込書のいずれかでお申込みください。定員に達し次第締切りとなります。

※定員に達した際は、当センターホームページでお知らせします。参加決定通知はお送りいたしませんので、当日直接会場へお越しください。

**E-mail:daihyo@hamacen.jp FAX 申込書 (045-223-2888)**

### 横浜市市民活動支援センター 行

当日は、つながるきっかけとして名簿を配布します。各項目のうち、名簿に公開してもよい情報項目には 欄に  を記入してください。メールの方もお忘れなく。

<input type="checkbox"/> お名前	<input type="checkbox"/> 所属	連絡先	
		<input type="checkbox"/> TEL	<input type="checkbox"/> FAX
		<input type="checkbox"/> E-mail	@
<input type="checkbox"/> 参加動機	<input type="checkbox"/> 連携・協働で取り組みたいプロジェクト※検討中のアイデアでも構いません		
手話通訳を希望します	手話通訳を希望の方は○印を記入してください。		